

科学用語から学ぶ日本語

積乱雲

積乱雲は、日本では夏によく見られる雲です。この雲は下のほうが暗い灰色で、上のほうへ向かって高く大きく育ちます。形はまるで大きな山や塔のようで、「入道雲」と呼ばれることもあります。時には雲の上の部分が横に広がって、平らな形になることもあります。積乱雲が出てくると、強い雨や雷が起こることが多く、風も急に強くなることがあります。夏の暑い日の午後によく発生し、短い時間で大きくなるのが特徴です。空の色が急に暗くなったら、積乱雲が近づいている兆候かもしれません。